

令和6年度 第12回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和7年3月21日（金）午後1時30分～午後4時40分

会 場 下野市役所3階 教育委員会室

出席委員	教 育 長	石 崎 雅也	職務代理者	永 山 伸一
	委 員	石 嶋 和夫	委 員	佐 間 田 香
	委 員	川 田 玲子		

出席職員	教育次長	高 山 正勝
	教育総務課長	米 井 正和
	学校教育課長	石 島 直
	生涯学習文化課長	野 口 修一
	文化財課長	伊 藤 隆行
	スポーツ振興課長	根 本 宣明
	教育総務課課長補佐	厚 木 充
	学校教育課指導主事	齋 藤 勇也
教育総務課主査	篠 崎 貴弘	

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和7年4月17日

教育長の報告

報告第48号	下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認について
報告第49号	下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認の決定状況について
報告第50号	寄附の受入状況について
報告第51号	令和7年度下野市教育研究所要覧について
報告第52号	令和6(2024)年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の報告について
報告第53号	令和7年第1回下野市議会定例会の報告について

議 事

議案第51号	下野市教育長交際費支出基準及び公表基準の制定について
--------	----------------------------

議案第 5 2 号	下野市義務教育学校検証委員会設置規則の制定について
議案第 5 3 号	下野市スポーツ大会出場激励金及び褒賞金交付要綱の一部改正について
議案第 5 4 号	令和 7 年度下野市スクールガード・リーダーの委嘱について
議案第 5 5 号	令和 7 年度下野市教育相談員の任用について
議案第 5 6 号	令和 7 年度下野市学校運営協議会委員の任命について
議案第 5 7 号	令和 7 年度下野市スクールアシスタントの任用について
議案第 5 8 号	令和 7 年度下野市地域学校協働活動推進員の任用について

そ の 他

- (1) 下野市生涯学習推進協議会委員の選出（後任）について
- (2) 第 4 回天平の桜歌会の開催について

1. 開会

(石崎教育長) ただいまから、令和 6 年度第 1 2 回下野市教育委員会定例会を開会する。

2. 教育長あいさつ

(石崎教育長) 2 月 1 8 日から本日 3 月 2 1 日までの職務について資料に基づき報告する。
報告内容について、質疑等はあるか。

(川 田 委 員) 南河内第二中学校吹奏楽部の保護者との面会について、差し付けなければ内容を伺いたい。

(石島学校教育課長) 吹奏楽部の休日部活動移行の件で、指導者ではなく保護者の見守りによって部活動の練習を行ってよいかということが主訴であった。それを受けて、第二中の保護者会の方にも学校教育課職員で説明を行ってきた。第二中学校は部活動の実施状況が他校と比べ少ないこともあり、部活動をもっと一生懸命やりたい保護者と生徒の意見として、土日を活用して自主練習をできないかというのがスタートであった。

そこで、地域移行として保護者が主体となってできないか学校と調整を図り、意見が合致したという形になった。

(石崎教育長) 部活動の地域移行の関係では、いろんな先輩や講師に入ってもらえた。子どもは一生懸命練習して上手になると、もっともっと上手になりたい意欲があって、保護者としても応援してあげたい。そのためには部活動をする場所やそれを見守る人といったことに協力願いたいということであり、学校としても何とかしたいと考えていることを伝え、喜ばれて帰られた。

(石崎教育長) 他、質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 永山委員及び佐間田委員を指名

4. 前回議事録の承認

(石崎教育長) 前回議事録について、事務局に説明を求める。

(厚木教育総務課課長補佐) 令和6年度第11回教育委員会定例会議事録及び第2回臨時会について、意見がなかった旨説明を行う。

(石崎教育長) 意見等はあるか。(特になし)

議事録はこのとおり決定とする。

5. 教育長の報告

(石崎教育長) 報告第48号下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認の決定状況について、説明を求める。

(米井教育総務課長) 資料に基づき、申請案件について説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(石嶋委員) 無料のセミナーなのか

(米井教育総務課長) 無料とのことである。

(石嶋委員) 後援を求める理由がよくわからない。

(米井教育総務課長) 宣伝ということになると思う。後援をすることによって保護者などの目につきやすいということがある。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。

(米井教育総務課長) 承認基準が4つあり、3つは当てはまるが、「その他市民の公共の福祉に寄与すると認められ、公益性のあるもの」という点、承認を行わないものとして「市の教育行政の運営に関する一般方針に沿わないもの」この2点について疑問がある。

(石崎教育長) ここまでの情報、説明を踏まえ、積極的に後援すべきという意見はあるか。(意見なし)

では、不承認ということではよろしいか。(異議なし)

(永山委員) 他市町の承認の実績よりも私たちが本当に必要かどうかというところで考えればよろしいと思う。

(石崎教育長) 続いて、報告第49号下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認の決定状況について、説明を求める。

(米井教育総務課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(石嶋委員) 中学生の平和派遣事業や石橋高校の歴史研究部の研究発表が予定されているが、昨年もあったのか。

(野口生涯学習文化課長)

今年初めてである。以前の定例会において、佐間田委員から発表の場についてのご意見をいただいていたが、今年度は準備できる行事が天平の桜歌会しかなかった。その他で説明しようと思っていたが、関連があるためこの場で説明する。天平の桜歌会は年度末のイベントのため、来年度は1月の教育のつどいの中で開催を検討したい。改めて相談していきたいと考えている。

(石崎教育長)

発表者は何人か。

(石島学校教育課長)

4人である。

(石崎教育長)

それでは意味がないと思う。

(石島学校教育課長)

来年度は要項で発表会まで含むとする。今回は事前に伝えていなかったため、有志による希望者たちの発表とさせていただいた。その辺りも含め、総務人事課とも検討している。

(石崎教育長)

佐間田委員が昨年度言われた時点で動いてればこうならなかったのではないかと。派遣に行った子どもたちが、その経験をもとにしっかりしたネットワークを作ること、見聞を高めてもいいし、あるいはそこでできたグループをもとに街づくりの面に関わってもらい、他の子どもたちを集めて中核になってさらにグループが大きくなっていくとか、そういうことが主目的である。発表することが目的ではない。せっかく行ってきて良い関係ができた。良いグループができた。それが行って帰ってきてさよならではもったいない。だからグループで集まれる機会を作ろう。それが主たる目的である。もちろん広島派遣の発表も大事だが、今回の4人というのは早く動くべきだったと思う。

他の課もそうだが、時期を逸しないように。先手必勝でとりあえず手を付けて欲しい。細かいところは後からやればいいのかから準備できないで間に合わなくなってしまうということがないように。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第50号、寄附の受入状況について、説明を求める。

(米井教育総務課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(佐間田委員)

まとめて配ると、恐らくそれで終わってしまって、保護者も全員は読んでくれないのではないかと。カードの使い方を学校の先生に説明してもらうことはできないか。

(川田委員)

入学式のときにまとめてセットになってしまっているのが難しいのでは。

(永山委員)

交通安全指導の時に、警察の方が来ていろいろと指導してもらい機会があると思うので、劇のように動きでカードを見せてこういうことをお願いします。という練習をやるような使い方

ができると思う。被害者になったときに自分で自分の命や権利を守る。それをきちんと認識するためには、そういう指導がセットで初めて役に立つと思う。

(佐間田委員)

年齢的にも7歳くらいだと親が説明するよりも、先生が説明する方がまっすぐに聞いているので理解が早いと思う。

(石島学校教育課長)

前回教育委員会でもご意見をいただいております、交通安全カードだけではなく、交通安全関係の保険が関わるようなワッペンなども詳しい説明をあまりしないで配っていた。学校の先生方にはこういう意図があるということも含めたうえで伝えたいと思う。

(石崎教育長)

永山委員の意見についてはどうか。

(石島学校教育課長)

劇については学校との調整も必要になってくるが、こういう活用の仕方もあるということで、そういう場面に出くわしたときに、このカードはこんなふうに使えますよ。というところを生で見てもらえるようにしたい。

(川田委員)

生ではなくビデオで撮影しても良いのではないかな。

(佐間田委員)

子どもたちも視覚からが学びやすいと思う。

(永山委員)

教育委員会で作ってもいいのではないかな。

(石嶋委員)

以前にいた中学校では、先生が自転車に乗って交通ルールを守った乗り方をビデオで撮影して、年度初めの交通指導の時に流していた。ここでは降りる。ここは乗っていいというのをビデオで見せて説明するというのは効果的だと思う。

(永山委員)

今のビデオの話はいいと思う。警察の交通安全課の方にシナリオを監修してもらい、DVD配布やけやきネットに載せてみるのも一つの手ではないかな。

(石嶋委員)

口で言うよりも目で見て説明を聞くとよい。

(永山委員)

私たちが出てもいい。検討してもらいたい。

(石島学校教育課長)

今回の意見を踏まえ検討していきたい。

(石崎教育長)

カードについては、贈呈式の際に失くしてしまうことが多いことを伝えた。予備があるとのことで、子どもが失くしてしまったときは学校に言えばもらえることを伝えたいと思う。

(永山委員)

もし実際にビデオを作るとなるときには、必ず報道の方もお願いしたい。教育委員会は発信力が弱いので、下野新聞だとかNHKだとかそういうところも活用して欲しい。下野市の子どもたちだけを守ればいい、というのは違うと思うので、私たちが何か素敵なことを発見すればこんなことをやっているよといって、今度はよその市町でも同じようなことが始まれば、これはそれに勝つことはないので、ぜひ発信も合わせてお願いしたい。

(石崎教育長)

発信力について、もうすぐ市長の定例記者会見があるが、過去3年間を調べると教育委員会内でも課によってバラバラであ

る。すべてが新聞記事に掲載されるわけではないが発信しなければゼロである。10回発信して5つでも3つでも伝わればいいと思うので、どんどん発信して欲しいということを各課にお願いしている。発信が伝わることで、教育委員会が動いてくれていると保護者とか子どもたちに対する信頼感とか安心感などが伝わってくる。今後も発信に努めていきたいと考えている。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第51号、令和7年度下野市教育研究所要覧について、説明を求める。

(米井教育総務課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(永山委員)

以前のゆうがおC A F EがパワーアップC A F Eに統合されているが、英語教育に関しては力を入れていただきたいと思う。特に、英語指導者研修の2回だけでは心もとないと感じる。むしろ別扱いで充実を図って欲しいと思うがどうか。

(石島学校教育課長)

ここには示していないが、すべての小中学校で英語教育に力を入れられるように英語でコミュニケーションデーを実施している。学校の規模にもよるが、A L Tを配置し、1日英語の時間を設けている。希望研修ではあるが、すべての学校が希望して行っている。来年度で4年目になるが下野市独自の取組である。パワーアップC A F Eについても改めて検討していきたい。

(永山委員)

先生方の研修でこの要覧に載っていない研修もあるのか。

(石島学校教育課長)

基本的にはない。学校が主催して行うものとして、学校教育課が業務委託している英語の会社が連携をして、各学校のニーズに合わせた英語教育の活動をしている。

(永山委員)

要覧に盛り込むことはできないのか。

(石島学校教育課長)

今後も教育委員会で説明していきたいと思う。

(永山委員)

パワーアップC A F Eの内訳を聞きたい。

(石島学校教育課長)

タブレットの使い方などのI C T C A F E、県主催の教育課程研究集会という学校の事例を夏休みに研修する機会があり、そこでの資料の作り方などのパワーアップ研修、インクルーシブ研修などである。

(永山委員)

英語教育も非常に大事であり、先生方の力を挙げていただきたいのが1点、I C Tについても喫緊の課題であり、インクルーシブ教育にしても課題だと思う。パワーアップC A F Eとしてまとめるのではなく、1つ1つ検証していく必要があるのではないか。どれも非常に重要な研修だと思うが、C A F Eの形式でまとめてしまうのはどうかという印象を受ける。

(石島学校教育課長)

先生方のニーズと、今の必要なものとして都度検証を行い、それぞれの名称となっていた。今回の意見を踏まえ、統合はしても、これらのものが全て盛り込んである内容でどのようにや

っていくことが1番いいのかを検討し、しっかりと位置づけていきたい。

(永山委員)
(石島学校教育課長)

それぞれの研修はどれくらい集まっているのか。

昨年度はICTを中心に開催しており、勤務時間後の自主研修ということもあるが、多い時で10人から15人、少ない時で4、5人という状況であった。インクルーシブについては1桁の人数であった。周知の仕方も含め、先生方が目的意識をもって参加できるような形で進めていきたいと思う。教育課程研究集会については参加する人が限られているが、対象の半分の8名程度は参加していた。

(永山委員)

先生方の中にリーダーとなる人が育ってほしいと思っている。勤務外で集まることは非常に貴重な活動と思うので、むしろ、メニューとして英語もある、ICTもある、インクルーシブもあるということで、そこで中心となってゼミを組んでいくというように積極性を誘導する意味でも名前を残して欲しいと思う。

(石崎教育長)
(石島学校教育課長)

実施に向けて障害はあるのか。

障害はない。ある程度人が集まれるようにしたいという願いはある。今まで単体でやっていたものを2つの会場を設けて2つの研修を一緒に行うなどやり方を検討している。ICTについては、昨年度は先生方が指導者となった講話を設けるなどの取組を行い、他の学校にも周知することもできた。今回いただいた意見も担当に伝え、しっかりと研修していきたいと思う。

(永山委員)

今の優秀優良教員表彰が始まる前に、先生方の中で仲間を引っ張っていく先生方を育てて欲しいと思い提案をした。仲間同士で切磋琢磨し、その中で力のある人が仲間を鍛えるということでものすごく力がつくと思う。そういったことを期待する意味でも、パワーアップCAFEのようにゼミ形式での取り組みは素晴らしいと思うので積極的に推進していただきたい。

(石嶋委員)

1つ心配なのは、働き方改革の動きのなか、昔だと当たり前だったことが今はやりづらい部分もあるのではないかな。働き方改革で早く学校から帰らなくてはいけないという風潮との兼ね合いはどうか。

(石島学校教育課長)

お見込みのとおりである。先生方では一生懸命やりたいけれど、時間の都合がなかなかつかないという方もいる。しかし、実際に参加して、来てよかったと思って帰る先生もいる。その先生が学校でその話をして、次回行ってみようとなることもある。良い部分もありつつ、限られた時間でどこまで効果的なものができるのか、今回いただいた意見と働き方改革も含めてやり方を工夫していきたい。

(佐間田委員)

どこの職場にもある話だと思うが、ある学校で子どものためにすごく頑張っている先生が、職員室では浮いているという話

- を聞いたことがある。働き方の問題もあると思うが、頑張っている人を認められない先生がいるというのは悲しく思う。
- (永山委員) 自主研修は学校で開催しているのか。
- (石島学校教育課長) 市役所で開催している。
- (石崎教育長) 学校教育課長にお願いしたい。学校に伝える、学校と検討するといった回答があるが、「こうやろう」や「こうしてください」といった指示や動きをして欲しい。
- (石島学校教育課長) 承知した。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (石嶋委員) スクールアシスタント研修の学校生活指導員(介助)は年1回だけか。
- (石島学校教育課長) 以前は2回実施していたこともある。2回行う必要があるのかという意見もあり、1回の中で特別支援のことをしっかりやると位置付けている。現在、1回目は全員参加で開催し、2回目はオープン参加という形式を検討している。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- (佐間田委員) 資料4ページの事業一覧について、「調査・研究事業」の体系に「今日的な教育課題に関する調査」とあるが、調査だけで終わっているのか。分析等は行わないのか。
- (石島学校教育課長) 「長期欠席児童生徒・いじめ調査」については、県・国と連動した調査になる。市独自で回数を増やすなどして、傾向や実態の分析は行っている。「進路状況調査」についてはあまり分析できていない。
- (石崎教育長) 「進路状況調査」については例年行っていないが、今年は担当に伝えて分析を行った。調査・研究としてもいいのではないか。
- (永山委員) 調査・分析ではどうか。
- (石嶋委員) 研究や分析を行っているのであれば加えてもいいのではないか。
- (石島学校教育課長) 研究・分析と加えるように修正する。4月4日の教職員全体研修会で完成版を配布する。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、報告第52号、令和6(2024)年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の報告について、説明を求める。
- (米井教育総務課長) 資料に基づき、説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
- (佐間田委員) ICT機器は部活動でも使っているのか。
- (齋藤学校教育課指導主事) バスケットボールなどで活用している。
- (石崎教育長) 1ページ表中の中2男子、上体起こしの記号が誤っていないか。
- (齋藤学校教育課指導主事) 誤っているため修正する。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
続いて、報告第53号、令和7年第1回下野市議会定例会の報告について、説明を求める。

(米井教育総務課長)
(石崎教育長) 資料に基づき、説明を行う。
質疑等はあるか。(特になし)

(石崎教育長) 続いて、議事に移る。

6. 議事

(石崎教育長) 議案第51号下野市教育長交際費支出基準及び公表基準の制定について、説明を求める。

(米井教育総務課長)
(石崎教育長)
(石嶋委員) 資料に基づき、説明を行う。
質疑等はあるか。(質疑なし)
第3条関係の別表の慶祝金の備考について、市から補助金を出している団体は「食事の提供がある場合に限る」との文言があるが、市から補助金を支出していない団体の場合は記載がない。理由はなにか。

(米井教育総務課長) 補助金を支出していない団体については、食事の有無に限らず慶祝金を支出するということである。

(石嶋委員)
(石崎教育長) 承知した。
他に質疑等はあるか。(質疑なし)
議案第51号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第51号は原案どおり決定する。

(石崎教育長) 続いて、議案第52号、下野市義務教育学校検証委員会設置規則の制定について、説明を求める。

(石島学校教育課長)
(石崎教育長)
(佐間田委員) 資料に基づき、説明を行う。
質疑等はあるか。
検証項目に「施設一体型での小中一貫教育の強み」とあるが、いいところも悪いところもすべての項目で知りたいと思う。

(石島学校教育課長) 構成員には小中学校と地域の代表の方も入っており、南河内小中学校だからこそできる取組というものを見つけていきたい。取組は学習や通学などのすべてにかかってくるので、それらを統括した強みを見つけていきたいと思いこの項立てにしている。

(佐間田委員)
(石崎教育長)
(石嶋委員) 承知した。
他に質疑等はあるか。
委員会委員(案)が15名おり、第3条で15名以内と規定している。1名程度余裕を持たせてもよいのではないか。会議が進むにつれて、異なる立場の人を入れたいということもあると思うがどうか。

- (石島学校教育課長) 第7条に「特に必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる」と規定しており、対応できる想定である。
- (石嶋委員) 立場が異なるのではないか。関係者としての意見と委員としての意見というのは少し違うと思う。
- (永山委員) 議会選出議員が委員に入っているが、議会は報告を受ける立場であり、検証委員に入る必要があるのか。
- (石島学校教育課長) 議会からしっかり検証をして欲しい意見もあり加えた。
- (永山委員) 議会として、市の予算を使った施設一体型の小中一貫教育施設を作った成果を報告させるのは当然と思うが、最終的な報告を受けるべき議員自らが検証をするというのは順番が違ような印象を受ける。
- (石島学校教育課長) 義務教育学校設立時及び、学校適正配置委員など参考としており、今回も加えている。
- (高山教育次長) 庁内での他の審議会でも、議員が入るケースもあれば入らないケースもある。今回については義務教育学校の設立の際にも入っているので加えたいと考えている。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。
- では私から。地域学校協働活動推進員は将来的にも2名でよいのか。
- (野口生涯学習文化課長) 今年度については、予算の関係もあり2名で協議を行ったが、理想としては各中学校区に1名を目指して要望している。
- (石崎教育長) 検証結果を出すのはいつか。
- (石島学校教育課長) 令和8年度末である。令和7年度から1年間しっかり検証を行う。継続するか改めて検討を行う。
- (石崎教育長) 石嶋委員の意見にあったように余裕を持たせてもよいのではないか。
- (永山委員) 15人ではなく16や18人にしてもいいのではないか。
- (高山教育次長) 審議会や検証委員会を設置する場合には、人数を20名程度としている。15人の表記を20人と改め、別紙の枠組みの中で選出していくということで修正したい。
- (石崎教育長) 議案52号を、第3条の「15人以内」を「20人以内」と修正する。別紙の文言をそのままに人数表示をなくすという修正でよろしいか。(全委員承認)
- 議案第52号を以上のとおり修正し、決定する。
- (石崎教育長) 続いて、議案第53号、下野市スポーツ大会出場激励金及び褒賞金交付要綱の一部改正について、説明を求める。
- (根本スポーツ振興課長) 資料に基づき、説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。(質疑なし)
- 議案第53号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第 5 3 号は原案どおり決定する。

ここで諮る。議案第 5 4 号から議案第 5 8 号については、個人情報に含まれる案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項の規定により非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員承認)

それでは、議案第 5 4 号から、議案第 5 8 号については非公開として進める。

(石崎教育長) 続いて、議案第 5 4 号、令和 7 年度下野市スクールガード・リーダーの委嘱について、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 議案第 5 4 号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第 5 4 号は原案どおり決定する。

(石崎教育長) 続いて、議案第 5 5 号、令和 7 年度下野市教育相談員の任用について、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 議案第 5 5 号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第 5 5 号は原案どおり決定する。

続いて、議案第 5 6 号、令和 7 年度下野市学校運営協議会委員の任命について、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 議案第 5 6 号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第 5 6 号は記載内容を修正し決定する。
続いて、議案第 5 7 号、令和 7 年度下野市スクールアシスタントの任用について、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 議案第 5 7 号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第 5 7 号は原案どおり決定する。
続いて、議案第 5 8 号、令和 7 年度下野市地域学校協働活動

推進員の任用について、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 議案第58号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第58号は原案どおり決定する。

(石崎教育長) ここで非公開を解く。
続いて、その他に移る。

7. その他

(厚木教育総務課課長補佐) (1) 下野市生涯学習推進協議会委員の選出(後任)について、説明する。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

(厚木教育総務課課長補佐) (2) 第4回天平の桜歌会の開催について、説明する。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

(石崎教育長) 他に事務局から連絡事項等はあるか。

(石島学校教育課長) 学校教育課から3点ある。1点目、令和7年度の国公立入試の速報についての資料を本日配布した。この後、定時制、通信制の発表があり、すべてを含めた最終進路の結果については4月に配布したい。

2点目、来年度のALTの配置について、現在最終調整を行っており、3月31日の退職辞令公式の際に決定したものを配布したい。

3点目、令和7年度子どもの読書活動優秀実践校の文部科学大臣表彰ということで本日の2時に公表となった。資料がホームページにアップされたので、資料を配布した。国分寺東小学校が令和7年度を受賞という形で4月に文部科学省で表彰を受けることになったので、情報提供させていただく。

(石崎教育長) 特徴や市内の学校の実績などの説明もして欲しい。

(石島学校教育課長) ここ数年では、今年度は南河内第二中学校、その前は石橋小学校、吉田東小学校、祇園小学校など、市内の多くの学校が受賞している。学校生活支援員の図書配置など市のバックアップも大きいと思う。

(石崎教育長) 原則、県内で小学校1つ、中学校1つ、高校1つの受賞なので、力を入れていただいたおかげで毎年下野市の小学校が受賞している。すごいことと思う。

また、入試速報についても説明をして欲しい。

(石島学校教育課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) 外国籍の生徒が外国人生徒特例入学者選抜で進学している。

これは画期的ですごいことだと思う。言葉の壁の問題もあり、対応についてこれから私たちも考えていかなくてはいけないことだと思っている。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

以上でよろしいか。(全委員承認)

(厚木教育総務課課長補佐)

それでは、次の開催日程について、事務局に説明を求める。

次の教育委員会は、令和7年4月17日(木曜日)午後1時30分から、教育委員会室で開催を予定している。

8. 閉会

(石崎教育長)

以上をもって、令和6年度第12回教育委員会定例会を閉会する。

(午後4時40分閉会)

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人